

氏名	濱口豊太	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	作業療法学 行動医学				
学位	博士（医学）				
学歴	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻行動医学分野				
経歴	帝京大学医学部附属市原病院 国際医療福祉大学 新潟医療福祉大学				
所属学会（役職）	日本行動医学会（評議員） 日本作業療法研究学会（副会長） 日本リハビリテーション学校協会（理事）				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	図解作業療法技術ガイド第4版	共著	あり	文光堂, 1402p	(編)石川 齊ほか, 濱口豊太	2021.2	
2	日本の作業療法発達史－萌芽期の軌跡を尋ねて－	共著	あり	シービーアール, 372p	(編)矢谷令子ほか, 濱口豊太	2021.2	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Prediction of Motor Recovery in the Upper Extremity for Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation and Occupational Therapy Goal Setting in Patients with Chronic Stroke: A Retrospective Analysis of Prospectively Collected Data	共著	あり	○	Frontiers Neurology, DOI: 10.3389/fneur.2020.581186	Toyohiro Hamaguchi, Naoki Yamada, Takuya Hada, Masahiro Abo	2020.10
2	The effects of locomotor activity on gastrointestinal symptoms of irritable bowel syndrome among younger people: An observational study.	共著	あり	○	PloS one 15(5) e0234089	Toyohiro Hamaguchi, Jun Tayama, Makoto Suzuki, Naoki Nakaya, Hirokazu Takizawa, Kohei Koizumi, Yoshifumi Amano, Motoyori Kanazawa, Shin Fukudo	2020.5
3	Predicting recovery of upper extremity motor function after stroke according to the NovEl intervention Using Repetitive transcranial magnetic stimulation and Occupational therapy: NEURO.	共著	あり	○	Journal of Stroke Medicine 3(1) 14 - 20	Hamaguchi T, Abo M, Tanaka T, Murata K, Suzuki M, Nakaya N, Taguchi K	2020.6
4	Reproducibility and reliability of performance indicators to evaluate the therapeutic effectiveness of biofeedback therapy after elbow surgery - An observational case series	共著	あり	○	Medicine 99(34) e21889	Takahashi Rina, Sano Kazufumi, Kimura Kazumasa, Ishioka Toshiyuki, Suzuki Makoto, Nakaya Naoki, Ozeki Satoru, Hamaguchi Toyohiro	2020.8
5	Distinction of Students and Expert Therapists Based on Therapeutic Motions on a Robotic Device Using Support Vector Machine	共著	あり	○	Journal of Medical and Biological Engineering 40(6) 790 - 797	Koike Yuji, Suzuki Makoto, Okino Akihisa, Takeda Kazuhisa, Takanami Yasuhiro, Hamaguchi Toyohiro	2020.9
6	A Cross-sectional Study of Attention Bias for Facial Expression Stimulation in Patients with Stroke at the Convalescence Stage	共著	あり	○	International Journal of Behavioral Medicine 1 - 12	Hirokazu Takizawa, Toshiyuki Ishioka, Kohei Koizumi, Jun Tayama, Makoto Suzuki, Naoki Nakaya, Toyohiro Hamaguchi	2020.12
7	Reproducibility between robot and human movements: preliminary development of a robotic device reconstructing therapeutic motion	共著	あり	○	Journal of Ergonomic Technology 20(1) 10 - 19	Yuki Saito, Makoto Suzuki, Yuji Koike, Kohei Koizumi, Naoki Nakaya, Masahiro Abo, Toyohiro Hamaguchi	2020.12

8	Coffee consumption and mortality in Japan with 18 years of follow-up: the Jichi Medical School Cohort Study	共著	あり	○	Public Health 191 23 - 30	T. Sakamaki, K. Kayaba, K. Kotani, M. Namekawa, T. Hamaguchi, N. Nakaya, S. Ishikawa	2021.2
9	Efficacy of attention bias modification combined with cognitive behavioral therapy for reducing anxiety in patients with hematopoietic malignancies: a quasi-randomized controlled trial	共著	あり	○	Journal of Affective Disorders Reports	Koizumi Kohei, Hamaguchi Toyohiro, Tayama Jun, Ishioka Toshiyuki, Nakamura-Thomas Hiromi, Koike Yuji, Nakaya Naoki, Konno Michiko, Makita Shigeru	2021.2

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	心的外傷性ストレス症状を有する急性期脳卒中患者の心理	共同	(公社)日本リハビリテーション医学会(オンライン)	大木原 徹也, 濱口 豊太, 石岡 俊之, 小泉 浩平, 武田 智徳, 高橋 秀寿, 牧田 茂	2020.7

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	消化管知覚過敏を軽減させるニューラルフィードバック練習装置の開発	研究代表者	2019.4~2022.3
2	日本学術振興会科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	IBS症状のセルフケアのためのeHealthシステム構築及びその効果についての研究	研究分担者	2019.12~2022.3
3	文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(B)	滑らかな行動を獲得する新しい介入戦略：神経活動の同期化と行動学習	研究分担者	2018.4~2021.3
4	文部科学省 科学研究費補助金(基盤(C))	体内力源型能動義手使用者の基礎的な義手操作技能を評価する指標の開発	研究分担者	2019.4~2022.3
5	文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的研究(萌芽))	相反性抑制機能を向上する新しい介入：電磁気刺激とフィードバックの統合効果	研究分担者	2018.4~2022.3
6	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	抑うつや不安症状を有する軽度認知症患者に対する認知バイアス修正の効果検証	研究分担者	2018.4~2022.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	リハビリテーション基盤実践学特論	○	15	
2	行動神経作業療法学特論	○	15	
3	心身機能作業療法論	○	15	
4	機能支援系作業療法論	○	15	

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	総合作業療法演習	○	30	
2	リハビリテーション学演習（行動神経作業療法学）	○	30	
3	心身機能作業療法演習	○	30	
4	機能支援系作業療法演習	○	30	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	身体機能作業療法実習（基礎）		前期：1コマ	
2	身体機能作業療法実習（疾患別）		後期：4コマ	
3	IPW実習		2020.1	
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.3	主指導 7	副指導 3名
2	修士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員） 5名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	-			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	蕨市	介護保健運営協議会・会長		2020.4～
2	蕨市	高齢者福祉計画等策定懇談会・会長		2020.4～
3	蕨市	蕨市地域密着型サービス事業選定委員会・会長		2018.4～2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会（委員長）		2020.4～2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会（委員）		2020.4～2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター（副センター長，教育調査分析部門・部門長）		2020.4～2021.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	大学IR推進委員会（委員）		2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				